クレマチス

第８号
令和８年１１月２５日
北海道常呂高等学校
学校・PTAだより

地域とともに歩む常呂高校のいまをお伝えします―。

探究活動発表会

11月４日（水）に探究活動発表会が行われました。今年度は、１年生と３年生が総合的な探究の時間に班ごとに取り組んだ探究活動の成果を発表する場として設定しました。学校運営協議会（ＣＳ）の委員の方にも審査員として参加していただきました。

常呂町の食材を利用したメニューの開発や常呂高校のオリジナルキャラクターの制作、校内での購買実施に向けた活動など、生徒たちによる様々な内容の発表が行われました。

例年とは異なる新しい形式で実施された探究活動発表会となりましたが、今回の発表に向けて取り組んだこと、発表会で聴いた内容を参考として、次の学年ではより発展した探究活動へとつなげていってほしいと思います。

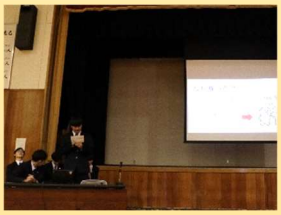
今後も私たちが住む地域を“探究”の視点でとらえて、様々な課題解決に向けて取り組んでいきます。











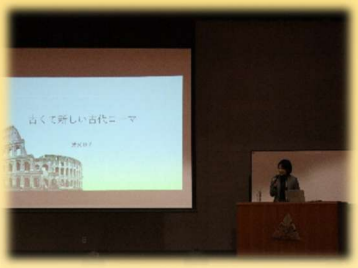
東京大学文学部 常呂高校特別講座

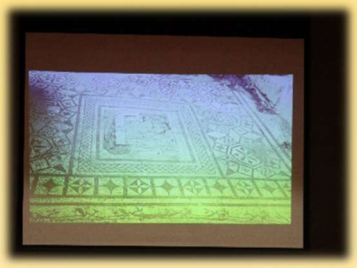
11月６日（金）に本校体育館で、第30回東京大学文学部特別講座が行われました。

講師の芳賀京子教授が「古くて新しい古代ローマ」をテーマに講演し、本校生徒や東大関係者、地域の方々など約70名が受講しました。

東京大学が携わるイタリアの「ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡」の発掘調査を例に、彫刻や壁画から古代ローマ時代を読み解く内容でした。生徒からは、「彫刻様式からどの年代に作られたのかが分かることを知った」等の感想が寄せられました。









１日防災学校

10月20日（火）に１日防災学校を実施しました。
午前の部では、大雨による浸水被害を想定した垂直避難を実施し、北見市総務部防災管理室のご協力により、防災講話をしていただきました。その後、各教科において防災を共通テーマとした授業を行いました。
午後の部でも、午前に引き続き北見市総務部防災管理室からご指導いただき、避難所体験として、段ボールベッドの設営を行いました。
今回の１日防災学校をとおして、常日頃から防災意識を持つ重要性を再確認しました。

100回何もなくても101回目に何かあるかもしれないという意識を常に持って災害と向き合っていきたい。
（生徒の感想より）





高校生のための お仕事体験会

１年生が10月７日（水）に北見で行われた「お仕事体験会」に参加してきました。事前学習では体験選択に頭を悩ませる様子も見受けられましたが、専門学校も含め20以上のブースが設置された会場では、それぞれ説明や体験に積極的に参加する姿がありました。
１年生として折り返しの時期となりました。今回の体験を次年度からより活発になる進路活動に役立てていきます。



体育大会

令和8年度常呂高校体育大会を次の通り実施します。体育委員、生徒会を中心に常呂高校生全員で怪我なく、楽しい行事にしたいと考えています。

日時：12月21日（月）　　場所：常呂高校体育館
種目：バレーボール（予定）

【12月　学校行事予定】

１（火）～４（金）　見学旅行
９（水）　第２回中高研修会
１０（木）　きらきらぼし
１７（木）　第３回漢字検定　SC来校
２１（月）　体育大会
２２（火）　冬季休業前全校集会
２３（水）～１／１４（木）冬季休業
２３（水）～２５（金）冬季講習
２８（月）～１／３（日）　学校閉鎖期間

校長より

高P連の北見支部研修会が10月10日（土）に北ガス市民ホール（北見市民会館）で開催され、田中PTA会長と参加しました。北翔大学の山谷名誉教授の講演、３つのテーマごとの分科会と続き、夜にはホテル黒部で懇親会が行われました。多くの他校のPTAの方々と交流を深めることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。
山谷名誉教授の講演の中で特に心に残ったのは、保護者との「役割交流」と「感情交流」という話でした。
「教師」と「保護者」という役割で接している時は５０％程度まで関係を深めることができる、しかし、対面で話したり、懇親会で話したりと「感情」を込めた交流をするとより関係が深められる、ということでした。
コロナ禍で懇親会等が減ってしまった感がありますが、三者面談や茶話会、懇親会など「心の」交流を持つことがやはり必要なのだと改めて感じました。

「感情交流」



ホームページ　X　Instagram　YouTube